

## ◆バリウム検査の受診を検討されているみなさまへ

### 1. バリウムが詰まり、腸管破裂を起こす危険があります。

75歳以上の高齢者（特に便秘がちな方）の場合、まれにバリウムが排泄されずに腸に詰まって破裂することがあります。これは若い方と比べて消化管の運動機能が低下していることや、腸管の壁が薄いことが原因とされています。

### 2. バリウムを誤嚥する（気道に入る）ことがあります。

高齢（特に脳梗塞や喘息の既往がある方）になると、飲食物が気道に入ってしまうことがあります。バリウム検査中に誤って気道に大量のバリウムが入ると肺炎や呼吸困難などの重篤な副作用を起こすことがあります。

### \*下記5項目に1つでも該当する場合、バリウム検査を受けていただくことができません。

- ①バリウム製剤による過敏症（アレルギー）がある。
- ②自力で立てない、横向きなどの一定の姿勢を保つことが困難である。
- ③過去に、バリウムの排泄困難で病院に受診し処置したことがある。
- ④過去に、バリウムを誤嚥したこと（気道にバリウムが入ってしまったこと）がある。
- ⑤腸閉塞を起こしたことがある

### \*下記2項目に1つでも該当する場合、かかりつけ医に事前にご相談ください。当日ドック診察医の判断でバリウム検査ができないことがあります。

- ①胃または十二指腸など、お腹の手術をしたことがある。または治療中や経過観察中である。
- ②普段の食事や水分でむせることがある。